
メ〜テレ、伊勢志摩などを超高精細の8Kで撮影 名古屋の次世代映像体感イベントで上映

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、サミットの開催で世界的な注目を集める伊勢志摩などをテーマにした8K映像を制作しました。メ〜テレでは5月14日（土）から名古屋市中区のセントラルパーク地下街で次世代映像体感イベントを開催し、会場でこの8K映像を上映いたします。

放送を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、メ〜テレは「次世代放送の先進局」を目指し、フルHDの4倍の解像度を持つ「4K」に加え、フルHDの16倍という超高精細な「8K」映像の制作にも取り組んできました。

2015年10月には、神戸の観光スポットを紹介する映像を8Kで制作しました。その制作ノウハウを生かし、今年はサミットの開催で世界的に注目を集めている伊勢志摩及び名古屋市内を対象にした8K映像を制作しました。

メ〜テレでは5月14日（土）から、関連会社のセントラルパークとともに次世代映像体感イベント「圧倒的なうつくしさ！高精彩な4K/8K映像を体感しよう！」を開催し、この8K映像を上映いたします。

このイベントは、セントラルパークを訪れる皆さまに4K、8K、HDR（※1）（ハイダイナミックレンジ）といった次世代映像を直接体感してもらうことが目的で、8月にBSで始まる「8K試験放送」などのスケジュールもパネルで紹介いたします。

なお、今回の8K映像は「ソニーF65RS」により撮影し、スーパーレゾリューション・デモザイキングプロセッサ（※2）「PWS-300SR1」を使い高画質な8K映像を出力しました。また、後工程である編集、エンコードは2015年10月の8K制作で培ったノウハウを生かし、撮影から上映まですべて自社で行っています。

（※1）HDR（High Dynamic Range）

⇒コントラストを通常より大幅に広げることで、明るい部分と暗い部分の明暗差を広く取った映像のこと。

（※2）スーパーレゾリューション・デモザイキングプロセッサ（Super Resolution De-Mosaicing Processor）

⇒映像記録フォーマットであるF65RAWデータから8K映像を出力するサーバー・ソフトウェア。

【8K映像の概要】

- 主な撮影場所：三重県（伊勢市伊勢神宮、志摩市英虞湾）
名古屋市（名古屋港水族館、名古屋城、名古屋駅、栄地区など）
- 使用機材：カメラ「ソニーF65RS」、編集「Adobe Premiere Pro CC」
- 機材及び技術協力：ソニービジネスソリューション(株)
- 本編長：約20分

【上映イベント概要】

次世代映像体感イベント

「圧倒的なうつくしさ！高精細な4K/8K映像を体感しよう！」

技術の進歩とともに次世代放送も進化を続け、今年はBS試験放送がスタートするなど、ますます身近になりつつあります。このイベントは、地域の視聴者の皆さまに、4K/8Kの高精細な映像を直接感じていただけるよう、迫力ある大画面で次世代映像を上映する取り組みです。

会場には、「8K対応130インチマルチモニタ」、「4K対応110インチマルチモニタ」、「HDR対応有機ELモニタ」などを設置し、メ〜テレが自社のカメラや4K編集室で制作した映像コンテンツなどを上映します。

東海総合通信局が後援し、平成28年度情報通信月間参加行事です。

- 開催日時：2016年5月14日(土)～25日(水) 午前10時～午後9時
※HDR展示は開催期間中の土日、午前10時～午後6時のみ
説明員は土日のみ常駐します。
- 開催場所：名古屋市中区錦3丁目15-13先 セントラルパーク地下街パークスクウェア
- イベント機材協力：ヒョウゴベンダ



<8K撮影の様子（名古屋城）>



<制作した8K映像より（伊勢神宮）>

以上